

## 中学生の部



## 水の使い方

石巻市立石巻中学校 3年 相澤 るな

みなさんのいつも身近にある水。うがいをする時、手を洗う時、料理をする時など水は他にも様々な場面で使われます。水道から出てくる水を使う人はコップなどに入れて使いますが、余って使わなくなった水はほとんどの人が捨てていると思います。その水の使い方、水がもったいないと思ったことはありませんか？私も前はあたり前のことのように、余って使わなくなった水は捨てていました。ですが、ふとある日思ったのです。今の捨てた使える水は、まだ何かの役に立ったり、その少しの水だけでも誰かのためになったりするのではないだろうかとインターネットなどで調べてみると今も外国や発展途上国では新鮮できれいな水を確保できず、汚染された水を飲むしかない状況で命を落としてしまう人がいます。また、生活に必要な水を確保するため、まだ10歳ぐらいの子供が朝早くから夕方近くまで水をくみに遠くまで行くということも起こっています。水くみにより多くの時間を奪われてしまい、学校に行って友達や先生と一緒に勉強ができない子供達もいます。この子供達ももし、自分だったらどうだろうかと考えてみて下さい。いつも蛇口をひねれば、スイッチ1つ押せば、当たり前のようにすぐに水が出てきて使うことができる環境にいる私達には、長時間歩いて、水をくみに行くという大変な作業はできないかもしれないと思います。そう考えると、いつも使っている水が余ったら、簡単に捨ててしまうのはとてももったいないので、その時に自分が使う最低の量だけを出して節水することが大切だと思います。また、今は、きれいな水を得ることができない人達を支援するための募金活動などもできるので、少しでも自分のできることを見つけて実行することが大事だと思います。

いつもきれいな水を私達は使うことができますが、水は自然環境の一部であり、無限にあるわけではありません。ですから、水を作るための自然環境が崩れてしまうと、きれいな水を得ることが難しくなってくることもあるかもしれません。また、人が水と一緒に有害な物質などを自然へと流してしまうことで、自然環境の一部を壊すだけではなく、生き物やこれからの人の生活に悪影響を及ぼしてしまうことも、遠い未来の話ではないと思います。

水が限りある大切な資源であるということや、人のちょっとした良くない行動の積み重ねによって便利な環境を壊してしまうこと、今きれいな水を使うことができているというありがたみを、私達はこれまで以上に感じながら生活していく必要があるのだと思います。きれいな水を求め、毎日くみに行くのが仕事である子供達がいて、水を飲むことができず大切な命を落としてしまう人もいるということに心に刻み、毎日使う水をもっと大切に使うことを心がけていきたいと思います。その余った水、まだ何かに使うことはできませんか？ぜひ考えてみてください。